

平成23年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）

整理番号 1 - 1 - 2

事務事業名	議会だより作成事業				担当課係	議会事務局
総合計画上の位置付け	大項目	3. 「信頼」のまちづくり			記入担当者	
	中項目	①共に進めるまちづくり			内線等	
	小項目	2. 地域の特性に合ったまちづくりのための情報共有			E-mail	
事業の実施主体	市（委託・補助事業含む）				事業区分	経常事業
事業予算費目	款	1	議会費	項	1	議会費
	目	1	議会費	事業	5	議会だより作成事業
開始年度	昭和 50	年度	根拠法令・要綱等			

■事務事業の概要（実施内容）

事業の対象	（誰の、何のために事業を実施するのか） 全市民及び関係団体
事業の目的 （意図）	（事業実施によってどういう状態にしたいのか） 市議会として、公正性、透明性、信頼性を重んじた議会の活動を、積極的に広くわかりやすく市民に伝えることを目的に、「議会だより」を発行する。
事業の内容 （内容・手法等）	（どういった仕事の内容で、どのような手法・手順で実施しているか） 「議会だより」の発行にあたっては、印刷・製本を除き、原稿、編集、誌面レイアウトなど、ほぼ全般の作業を議会広報特別委員会の委員が自ら行い、幅広い年齢層にわかりやすく、見やすい広報誌になるよう努めている。「議会だより」は、通常年4回（5月、8月、11月、2月の各月5日）発行、「広報こまつしま」に折り込んで全世帯に配布している。
事業の背景 （経緯等）	（事業開始の背景やこれまでの経緯） 創刊は昭和50年12月。平成12年9月から、より親しまれる議会広報誌づくりに向けて、議会広報の名称を『こまつしま市議会だより「やまもも」』に改称し、誌面の充実を図るための活発な取り組みが始まった。このような経緯を経て、平成15年8月から先進地視察での調査研究の成果を生かした現在の「議会だより」となっている。

■事務事業の業績・推移（目標・実績）

成果指標	指標名			指標の説明				指標化できない成果 「議会だより」に掲載した記事の、認知度及び満足度
	「議会だより」配布率	全世帯に対する配布状況（率）						
	単位	H22	H23	H24	H25	将来目標 （年度：平成）		
%	目標	100	100	100	100	100		
	実績	100	100					
	達成度	100.0%	100.0%					

活動実績・参考となる指標	指標名		単位	H22	H23	H24	H25	指標の説明
	「議会だより」発行部数	計画	部	65,600	65,800	65,800	65,800	「議会だより」の発行部数
		実績		65,800	49,100			
「議会だより」1部あたりのページ数	計画	ページ	16	16	16	16	「議会だより」の平均ページ数	
	実績		16	17				
	計画							
	実績							

■事務事業に係るコストの業績（目標・実績）

（単位：円）

全体コスト（円）	関連事業費	22年度決算		23年度決算		24年度決算		23年度予算	
		A	直接事業費	1,369,702	1,202,930	0	1,523,000		
財源内訳	A	国県支出金							
		地方債							
		利用者負担							
		一般財源	1,369,702	1,202,930					
B	B	人件費 ①×②			0				
		職員平均人件費①							
		従事した割合②/人							
A + B		1,369,702	1,202,930	0					
単位コスト	活動指標の説明		「議会だより」1部発行あたりの単価（65,800部）	「議会だより」1部発行あたりの単価（49,100部）		備考			
	活動指標1単位当たりコスト		20	24		平成22年4月1日現在 人口41,507人			
	市民一人あたりのコスト		32	29		平成23年4月1日現在 人口41,204人			

■事業を取り巻く環境

国・県・他団体の動向や環境変化と今後の予測	(社会状況、法改正、規制緩和、周辺の状況等や今後の予測) 県議会、県内他市議会ともに各定例会終了ごとに発行しており、これからも変わりはないと考えている。
事業に対する住民の意見	(意識調査・議会質疑等、事業に対する期待・要望・苦情など) より見やすい紙面づくり、わかりやすい文言・文章での表記との要請等があった。

■項目別評価・今後の課題

評価項目	評価結果 (該当にチェック)	判断理由・評価コメント (具体的に記入すること)
必要性 (市民ニーズ)	<input type="radio"/> ① 必要性が高い	市議会の活動内容を市民に知らせることは、議会活動の重要な要素であり、「議会だより」は議会情報発信の手法の一つとして、有効である。
	<input type="checkbox"/> ② どちらかといえば必要性がある	
	<input type="checkbox"/> ③ 必要性が低い	
	<input type="checkbox"/> ④ 必要性がない	
妥当性 (市で行わなければならないか)	<input type="radio"/> ① 市が行わないといけない	議会活動の情報提供をすることは市議会の役割である。議会情報を正確に、分かりやすく伝えるためには、市議会で行うのが妥当であると考えられる。
	<input type="checkbox"/> ② どちらかといえば市で実施	
	<input type="checkbox"/> ③ 必然性が低い	
	<input type="checkbox"/> ④ 必然性がない	
効率性 (事業の手法は効率よいが、コスト削減の余地はないか)	<input type="radio"/> ① 効率的である	原稿作成から編集までの過程を特別委員会で行っており、ページ数の削減や単色刷りにすることで事業費についても削減を図っている。
	<input type="checkbox"/> ② どちらかといえば効率的	
	<input type="checkbox"/> ③ どちらかといえば非効率的	
	<input type="checkbox"/> ④ 非効率的	
緊急性 (他事業に優先し、実施する必要があるか)	<input type="radio"/> ① 緊急性が高い	定例会の翌々月5日に発行しており、定例会終了後、速やかに編集作業に取りかからなければならないため、緊急性はある。
	<input type="checkbox"/> ② 比較的緊急性がある	
	<input type="checkbox"/> ③ 緊急性が低い	
	<input type="checkbox"/> ④ 緊急性はない	
成果 (目的の達成状況)	<input type="radio"/> ① 成果が上がっている	定例会での一般質問や審議内容、議会の動向等を掲載し、議会を傍聴できない市民に対しても内容を伝えている。また、「議会だより」を資料として、議会報告会を各地域で実施している。
	<input type="checkbox"/> ② どちらかといえば上がっている	
	<input type="checkbox"/> ③ どちらかといえば上がっていない	
	<input type="checkbox"/> ④ 成果は上がっていない	
今後の課題	紙面作り等の効果的な改善により、今まで以上に市民が関心を持ち、読んでもらえる誌面づくりに努めるとともに、活発化している議会活動の情報発信を広報することも重要である。今後、ページ数の増も検討すべきである。	

■一次評価 (評価点は目安とし、総合的な評価をすること)

評価	事務事業の方向性	1 拡 充 す る	80 点 以上	評価点による判定 評価点 79	判定に至った理由
		2 現状のまま継続する	60 ~ 79 点		
2		3 改善・効率化し継続	50 ~ 59 点	2	小松島市市政モニターへのアンケートにおいても、議会活動の広報媒体として、「議会だより」が過半数を占めるなど、有効な情報伝達手段である。したがって、事業は継続するべきであると考えられる。
		4 見直しの上縮小する	40 ~ 49 点		
		5 終期設定し終了	30 ~ 39 点		
		6 休 止	20 ~ 29 点		
		7 廃 止	19 点 以下		

■改善・効率化・見直しの方向性 ※一次評価の判定が3・4の時は、必ず記入すること。

【具体的な改善等取組内容 (方向性・対象・手段等について記述)】

■二次評価 (所管担当の一次評価を、総合評価し判定すること)

評価	事務事業の方向性	1 拡 充 す る	判定説明
		2 現状のまま継続する	
2		3 改善・効率化し継続	市民から見てもわかりやすく、市民が知りたい内容の紙面づくりや、市民の一部紙面参加も今後は考えられる。当事業は十分に発展する要素を含んでいる。
		4 見直しの上縮小する	
		5 終期設定し終了	
		6 休 止	
		7 廃 止	